

薬学教育協議会 第17回病態・薬物治療関連教科担当教員会議 議事録

【日時】平成29年3月26日（日） 12時00分～13時00分

【場所】東北大学川内北キャンパス C棟1階 101号室（P会場）

【委員長】西田升三（近畿大学）

【世話人】入江徹美（熊本大学）、小澤孝一郎（広島大学）、賀川義之（静岡県立大学）、木内祐二（昭和大学）、河野武幸（摂南大学）、中村明弘（昭和大学）

【出席者】別紙

【配付資料】

- ・薬学協議会 第17回病態・薬物治療関連教科担当教員会議 次第
- ・資料1「症例からの臨床判断～薬学教育の新たな取り組み～」（講演資料）
- ・資料2「薬学治療の実践力を培う学年縦断型カリキュラムとルーブリックによる継続的アウトカム評価」（講演資料）
- ・資料3「第17回病態・薬物治療関連教科担当教員会議の議題について」

審議事項1）病態・薬物治療関連教科担当教員会議を薬学会年會会期中とは別日で開催する事項に関して

委員長から、本議題を取り上げた背景の説明と、事前に行ったメールアンケート結果が報告された。その中で、会場の手配（会場費）や各担当教員が参加しやすい日程などを考慮すると薬学会年會に合わせた日時・場所で行うのが妥当である、審議事項が多い（時間のかかる）年度は薬学会とは別日・別会場開催する必要もあるなどの多数意見が紹介された。委員長から、次年度の会議は薬学会期間中に行い本件を継続課題とし、メール会議を利用して審議の効率化を図る、次々年度以降は薬学会年會前日に行えるよう道筋をつけていくとの提案があり、審議の結果、これを承認した。

審議事項2）その他

2017年度の委員長は、2016年度に引き続き西田升三（近畿大学）が担当することとなり、これを承認した。

以上

出席者名簿 (第17回病態・薬物治療関連教科担当教員会議) (71名)

井関 健	(北海道大学)	飯塚健治	(北海道医療大学)
山下美妃	(北海道薬科大学)	永倉透記	(青森大学)
那谷耕司	(岩手医科大学)	佐藤 博	(東北大学)
高橋知子	(東北医科薬科大学)	小池勇一	(奥羽大学)
林 正彦	(いわき明星大学)	松岡 功	(高崎健康福祉大学)
太田昌一郎	(城西大学)	佐藤信範	(千葉大学)
桧貝孝慈	(東邦大学)	鈴木 孝	(日本大学)
三浦 剛	(城西国際大学)	稲津教久	(帝京平成大学)
三田智文	(東京大学)	鈴木順子	(北里大学)
齋藤英胤	(慶應義塾大学)	池田弘子	(星薬科大学)
山田純司	(東京薬科大学)	庄司 優	(明治薬科大学)
長浜正巳	(明治薬科大学)	三原 潔	(武蔵野大学)
濱本知之	(昭和薬科大学)	水谷颯洋	(昭和薬科大学)
岸本成史	(帝京大学)	板垣文雄	(帝京大学)
日塔武彰	(横浜薬科大学)	若林広行	(新潟薬科大学)
笹岡利安	(富山大学)	加藤将夫	(金沢大学)
早苗富士子	(北陸大学)	森本達也	(静岡県立大学)
賀川義之	(静岡県立大学)	早川伸樹	(名城大学)
野々垣常正	(金城学院大学)	岡野友信	(立命館大学)
高倉喜信	(京都大学)	秋葉 聡	(京都薬科大学)
杉浦伸一	(同志社女子大学)	辻川和丈	(大阪大学)
島本史夫	(大阪薬科大学)	河野武幸	(摂南大学)
山形雅代	(大阪大谷大学)	岸本修一	(神戸学院大学)
中本加寿夫	(神戸学院大学)	力武良行	(神戸薬科大学)
三木知博	(武庫川女子大学)	小山敏広	(岡山大学)
小山真也	(就実大学)	細井 徹	(広島大学)
木平孝高	(福山大学)	兒玉安史	(広島国際大学)
伊藤康一	(徳島文理大学賀川薬学部)	柴田和彦	(松山大学)
窪田敏夫	(九州大学)	小山 進	(第一薬科大学)
稲嶺達夫	(長崎大学)	隈 博幸	(長崎国際大学)
入江徹美	(熊本大学)	山崎啓之	(崇城大学)
高村徳人	(九州保健福祉大学)	西田升三	(近畿大学)
三田村邦子	(近畿大学)	椿 正寛	(近畿大学)
武田朋也	(近畿大学)	河本雄一	(近畿大学)
友成佳加	(近畿大学)		